

## 気仙沼湾・唐桑半島東部海域貝毒プランクトン調査結果

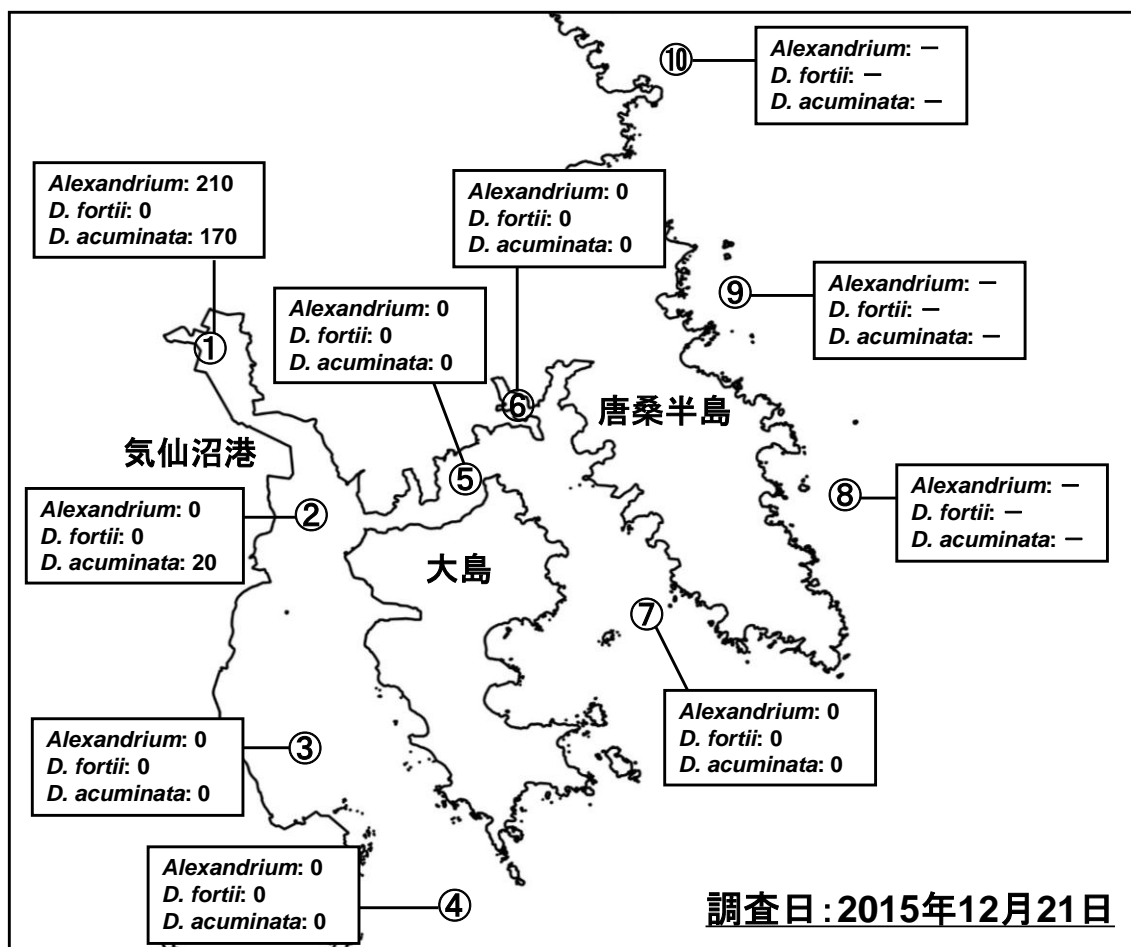


表: 今回(12月21日)の調査結果

調査地点	水温	塩分	貝毒プランクトン出現数(細胞数/L)				備考
			Alexandrium	Dinophysis			
				D. fortii	D. acuminata	その他のDinophysis	
① 港町	11.85	33.16	210	0	170	30	D. rudgei: 30
② 母体田	12.07	33.56	0	0	20	0	
③ ニツ根	11.21	32.93	0	0	0	0	
④ 岩井崎	11.62	33.44	0	0	0	0	
⑤ 大島瀬戸	11.71	33.6	0	0	0	0	
⑥ 舞根	12.65	33.47	0	0	0	0	
⑦ 唐島	11.64	33.62	0	0	0	0	
⑧ 滝浜	-	-	-	-	-	-	
⑨ 石浜	-	-	-	-	-	-	
⑩ 大沢	-	-	-	-	-	-	

※Alexandriumは麻痺性貝毒、D. fortiiとD. acuminataは下痢性貝毒の原因プランクトンです。

※水温、塩分、プランクトンは水深0~10mの柱状採水によるサンプルのデータです。

